

「後方支援だから安全」は
安倍政権のごまかし

兵たんは「前方配置」

後方支援

日本共産党の新聞「赤旗」がスクープ!!

「戦争法案」では、イラク戦争のような戦争で、自衛隊が米軍などに弾薬や燃料の補給、武器の輸送などの「兵站(へいたん)」を、「後方支援」と言い換えて、実施するとしています。安倍首相らは、それを「安全だ」と強弁しますが、それと真つ向から反することが明記されている陸上自衛隊の「教科書」を、日本共産党の「しんぶん赤旗」が入手しました(7月29日付けに掲載)。

「しんぶん赤旗」がスクープしたのは、陸上自衛隊幕僚監部が監修した最新版「陸自教範 兵站」(2011年1月)です(左写真)。「教範」とは自衛隊の行動、教育訓練を適切、有効に実施するための

いわば「教科書」です。

「戦闘力の維持・増進が主眼」 常に武力行使と一体

「教範」では、兵站は「戦闘の終始を通じて衝撃力を維持・増進することを主眼とする」と明記。常に武力行使と一体であることを示すものです。

「できる限り前方、更に前方、 第二線部隊に配属」と明記

さらに「兵站部隊は…できる限り前方で、かつ、主攻撃の支援に便利なように配置するとともに、攻撃の進展に応じて、これを更に前方に推進し、あるいはその一部を第一線部隊に配属する」と徹底して前方に配置することを明示しています。

兵站を「後方支援」と言い換えて「戦闘行為のない場所だから安全」、「危険が迫れば簡単に撤収できる」などと説明するのは、自衛隊の教科書からも安倍政権のごまかしであることは明らかです。

陸自教範4-02-01-01-22-0

兵 站

2 兵站運用一般の要領

- 1) 兵站部隊及び施設は、攻撃の開始に先立って、できる限り前方で、かつ、主攻撃の支援に便利なように配置するとともに、攻撃の進展に応じてこれを更に前方に推進し、あるいはその一部を第一線部隊に配属する。

陸上幕僚監部

平成23年1月

戦争法案強行ねらう「安倍政権NO!!」

「兵たん」こそ、もっとも相手から攻撃の対象になることは軍事の常識。「兵たん」こそが戦闘現場になるのです。それをごまかし戦争法案の強行をねらう安倍政権に「NO」の声をつきつけましょう。

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2015年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党

「後方支援だから安全」は
安倍政権のごまかし

兵たんは「前方配置」

後方支援

日本共産党の新聞「赤旗」がスクープ!!

「戦争法案」では、イラク戦争のような戦争で、自衛隊が米軍などに弾薬や燃料の補給、武器の輸送などの「兵站(へいたん)」を、「後方支援」と言い換えて、実施するとしています。安倍首相らは、それを「安全だ」と強弁しますが、それと真つ向から反することが明記されている陸上自衛隊の「教科書」を、日本共産党の「しんぶん赤旗」が入手しました(7月29日付けに掲載)。

「しんぶん赤旗」がスクープしたのは、陸上自衛隊幕僚監部が監修した最新版「陸自教範 兵站」(2011年1月)です(左写真)。「教範」とは自衛隊の行動、教育訓練を適切、有効に実施するための

いわば「教科書」です。

「戦闘力の維持・増進が主眼」 常に武力行使と一体

「教範」では、兵站は「戦闘の終始を通じて衝撃力を維持・増進することを主眼とする」と明記。常に武力行使と一体であることを示すものです。

「できる限り前方、更に前方、 第二線部隊に配属」と明記

さらに「兵站部隊は…できる限り前方で、かつ、主攻撃の支援に便利ないように配置するとともに、攻撃の進展に応じて、これを更に前方に推進し、あるいはその一部を第一線部隊に配属する」と徹底して前方に配置することを明示しています。

兵站を「後方支援」と言い換えて「戦闘行為のない場所だから安全」、「危険が迫れば簡単に撤収できる」などと説明するのは、自衛隊の教科書からも安倍政権のごまかしであることは明らかです。

陸自教範4-02-01-01-22-0

兵 站

2 兵站運用一般の要領

- 1) 兵站部隊及び施設は、攻撃の開始に先立って、できる限り前方で、かつ、主攻撃の支援に便利ないように配置するとともに、攻撃の進展に応じてこれを更に前方に推進し、あるいはその一部を第一線部隊に配属する。

陸上幕僚監部

平成23年1月

戦争法案強行ねらう「安倍政権NO!!」

「兵たん」こそ、もっとも相手から攻撃の対象になることは軍事の常識。「兵たん」こそが戦闘現場になるのです。それをごまかし戦争法案の強行をねらう安倍政権に「NO」の声をつきつけましょう。